

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年5月14日

【四半期会計期間】 第40期第3四半期(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

【会社名】 株式会社ユニバーサル園芸社

【英訳名】 UNIVERSAL ENGEISHA CO., LTD

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 森坂 拓実

【本店の所在の場所】 大阪府茨木市大字佐保193番地の2

【電話番号】 072-649-2266(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画室長 安部 豪

【最寄りの連絡場所】 大阪府茨木市大字佐保193番地の2

【電話番号】 072-649-2266(代表)

【事務連絡者氏名】 経営企画室長 安部 豪

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第39期 第3四半期 連結累計期間	第40期 第3四半期 連結累計期間	第39期
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日	自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日	自 平成23年7月1日 至 平成24年6月30日
売上高	(千円)	2,075,654	2,496,049	2,824,794
経常利益	(千円)	415,874	466,487	510,528
四半期(当期)純利益	(千円)	159,828	263,299	194,710
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	159,604	265,876	194,573
純資産額	(千円)	4,135,764	4,614,836	4,411,773
総資産額	(千円)	4,830,068	5,443,487	5,169,062
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	151.32	209.59	178.25
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	85.6	84.8	85.3

回次		第39期 第3四半期 連結会計期間	第40期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	53.88	65.08

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

当第3四半期連結会計期間に、セグメント情報の「グリーン事業」の区分において、株式会社花守花の座の株式を新たに取得し、連結子会社としております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社は、現金を対価とする株式取得により平成24年12月1日付で株式会社花守花の座を当社の連結子会社といたしました。詳細につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（企業結合等関係）」をご参照ください。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災の復興への動きが緩やかに続いており、さらには新政権の金融緩和や景気対策を受け、株高・円安の傾向が続いているものの、世界経済の低迷が長期化する中、内需への反映は鈍く、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,496,049千円（前年同四半期比20.3%増）、営業利益は432,507千円（同11.1%増）、経常利益は466,487千円（同12.2%増）となった結果、四半期純利益は263,299千円（同64.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

〔グリーン事業〕

グリーン事業のうち関東エリアにつきましては、東日本大震災後の需要減退からの回復もあり、大幅な増収増益となりました。関西エリアにつきましては、大型の個別受注案件が増加したこと、及び株式会社花守花の座を新たに連結の範囲に加えたことから増収増益となりました。海外エリアにつきましても、僅かながらも増収増益となりました。

以上の結果、グリーン事業の売上高は2,130,615千円（前年同四半期比21.3%増）、営業利益は404,379千円（同10.6%増）となりました。売上高営業利益率は、関西エリアは20.9%、関東エリアは17.8%となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、東日本大震災後の需要減退から回復したこと、及びネクステージ株式会社からエクステリア用石材等の卸売事業を譲受けたこと等により、大幅な増収増益となりました。

以上の結果、卸売事業の売上高は255,654千円（前年同四半期比35.7%増）、営業利益は15,027千円（同49.2%増）となりました。

〔ネット通販事業〕

ネット通販事業につきましては、キャンペーン商品の拡充や経費節減等による売上及び利益の確保に努めて参りましたが、減収減益となりました。

以上の結果、ネット通販事業の売上高は23,688千円（前年同四半期比28.7%減）、営業損失が6,811千円（前年同四半期は2,002千円の損失）となりました。なお、ネット通販事業は「母の日」の属する第4四半期に売上高と営業利益が偏重する傾向があります。

〔造園事業〕

造園事業につきましては、大型の個別受注案件が増加したものの公共工事を中心に工事案件の総数が減少したこと、及び大型案件の増加に伴い外注費が増加したこと等により、売上高は横ばいとなりましたが、利益は減益となりました。

以上の結果、造園事業の売上高は107,969千円（前年同四半期は107,925千円）、営業利益は4,713千円（同10.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は5,443,487千円となり、前連結会計年度末に比べ274,424千円の増加（5.3%増）となりました。

このうち流動資産は2,717,790千円となり、前連結会計年度末と比べて176,894千円の増加（7.0%増）となりました。これは主に、有価証券が399,520千円減少したものの、現金及び預金が381,428千円、受取手形及び売掛金が157,467千円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は2,725,697千円となり、前連結会計年度末に比べて97,530千円の増加（3.7%増）となりました。これは主に、のれんが67,002千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は828,650千円となり、前連結会計年度末と比べて71,361千円の増加（9.4%増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が53,517千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,614,836千円となり、前連結会計年度末と比べて203,063千円の増加（4.6%増）となりました。これは主に、四半期純利益を263,299千円計上し、一方で配当金を62,812千円支払ったことにより、利益剰余金が200,487千円増加したこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,256,250	1,256,250	大阪証券取引所 J A S D A Q (スタン ダード)	単元株式数は100株で あります。
計	1,256,250	1,256,250	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減 額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日		1,256,250		172,770		122,488

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容の確認ができないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	-	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 1,255,800	12,558	-
単元未満株式	普通株式 450	-	-
発行済株式総数	1,256,250	-	-
総株主の議決権	-	12,558	-

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日）及び第3四半期連結累計期間（平成24年7月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,563,428	1,944,856
受取手形及び売掛金	321,625	479,093
有価証券	509,828	110,307
商品及び製品	88,159	108,611
仕掛品	344	1,476
原材料及び貯蔵品	10,760	10,193
その他	52,853	71,362
貸倒引当金	6,104	8,111
流動資産合計	2,540,895	2,717,790
固定資産		
有形固定資産		
土地	795,292	795,824
その他	895,033	920,604
減価償却累計額	683,529	681,728
その他(純額)	211,504	238,876
有形固定資産合計	1,006,797	1,034,700
無形固定資産		
のれん	15,445	82,447
その他	52,120	52,345
無形固定資産合計	67,565	134,792
投資その他の資産		
投資有価証券	707,328	606,149
繰延税金資産	179,502	182,780
投資不動産	506,735	506,735
減価償却累計額	69,693	76,013
投資不動産(純額)	437,042	430,721
その他	321,248	427,869
貸倒引当金	91,316	91,316
投資その他の資産合計	1,553,804	1,556,203
固定資産合計	2,628,167	2,725,697
資産合計	5,169,062	5,443,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,971	133,488
短期借入金	-	37,560
未払法人税等	137,826	89,834
賞与引当金	1,251	31,080
その他	143,079	143,393
流動負債合計	362,129	435,357
固定負債		
退職給付引当金	143,560	142,271
長期未払金	207,018	209,250
その他	44,580	41,771
固定負債合計	395,159	393,292
負債合計	757,289	828,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	4,118,614	4,319,101
株主資本合計	4,413,873	4,614,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	464	54
為替換算調整勘定	1,636	421
その他の包括利益累計額合計	2,100	476
純資産合計	4,411,773	4,614,836
負債純資産合計	5,169,062	5,443,487

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
売上高	2,075,654	2,496,049
売上原価	750,030	979,364
売上総利益	1,325,623	1,516,685
販売費及び一般管理費	936,180	1,084,177
営業利益	389,443	432,507
営業外収益		
受取利息	18,122	14,393
受取配当金	225	221
投資不動産賃貸料	24,832	33,754
デリバティブ評価益	6,619	4,376
その他	5,271	4,426
営業外収益合計	55,072	57,171
営業外費用		
支払利息	-	327
不動産賃貸原価	12,998	14,403
為替差損	6,868	7,165
上場関連費用	8,282	-
その他	491	1,296
営業外費用合計	28,640	23,192
経常利益	415,874	466,487
特別損失		
貸倒引当金繰入額	91,316	-
特別損失合計	91,316	-
税金等調整前四半期純利益	324,557	466,487
法人税等	164,729	203,187
少数株主損益調整前四半期純利益	159,828	263,299
四半期純利益	159,828	263,299

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	159,828	263,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	518
為替換算調整勘定	311	2,058
その他の包括利益合計	223	2,576
四半期包括利益	159,604	265,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,604	265,876
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間
(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

(連結の範囲の重要な変更)

第3四半期連結会計期間において、株式会社花守花の座の全株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間
(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これによる当第3四半期連結累計期間の損益への影響は、軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間
(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)
減価償却費	30,265千円	33,574千円
のれんの償却額	7,113千円	10,177千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年9月30日 定時株主総会	普通株式	21,125	20.00	平成23年6月30日	平成23年9月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年9月27日 定時株主総会	普通株式	62,812	50.00	平成24年6月30日	平成24年9月28日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	ネット通 販事業	造園事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計						
売上高										
外部顧客への売上高	826,983	904,788	23,544	1,755,315	183,960	28,551	107,826	2,075,654	-	2,075,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	730	-	730	4,488	4,661	99	9,979	9,979	-
計	826,983	905,518	23,544	1,756,046	188,448	33,212	107,925	2,085,633	9,979	2,075,654
セグメント利益又は損失()	157,770	210,367	2,453	365,684	10,070	2,002	5,240	378,993	10,449	389,443

(注) 1 セグメント利益(営業利益)の調整額10,449千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成25年3月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	グリーン事業				卸売事業	ネット通 販事業	造園事業			
	関東 エリア	関西 エリア	海外 エリア	小計						
売上高										
外部顧客への売上高	1,058,326	1,039,912	31,421	2,129,661	238,519	20,753	107,115	2,496,049	-	2,496,049
セグメント間の内部売上高又は振替高	51	902	-	954	17,134	2,934	853	21,877	21,877	-
計	1,058,378	1,040,815	31,421	2,130,615	255,654	23,688	107,969	2,517,927	21,877	2,496,049
セグメント利益又は損失（ ）	188,431	217,386	1,437	404,379	15,027	6,811	4,713	417,308	15,199	432,507

(注) 1 セグメント利益（営業利益）の調整額15,199千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替等であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

グリーン事業セグメントにおいて、株式会社花守花の座の全株式を取得し連結子会社としたことにより、のれんが増加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、44,037千円であります。

卸売事業セグメントにおいて、ネクステージ株式会社よりエクステリア用石材等の卸売事業を譲受けたことにより、のれんが増加しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、33,142千円であります。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社花守花の座
被取得企業の事業の内容 生花小売事業等

企業結合を行った主な理由

株式会社花守花の座の生花小売事業を当社グループに加えることで、事業領域の更なる拡大が図られることが期待されるため。

企業結合日

平成24年12月1日

企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

結合後の企業の名称

変更はありません。

取得した議決権比率

100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式会社花守花の座の全株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

平成24年12月1日から平成25年2月28日までとなります。

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得の対価	35,000千円
取得に直接要した支出額	11,1 - 千円
取得原価	35,000千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 44,037千円
発生原因 主として被取得企業の今後の事業展開において期待される超過収益力
であります。
償却方法及び償却期間 5年間にわたる均等償却

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	151円32銭	209円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	159,828	263,299
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	159,828	263,299
普通株式の期中平均株式数(株)	1,056,250	1,256,250

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 5月13日

株式会社ユニバーサル園芸社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土居 正 明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三宅 潔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユニバーサル園芸社の平成24年7月1日から平成25年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年1月1日から平成25年3月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年7月1日から平成25年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユニバーサル園芸社及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。